

3 地域別の動向

(1) 北海道



北海道地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

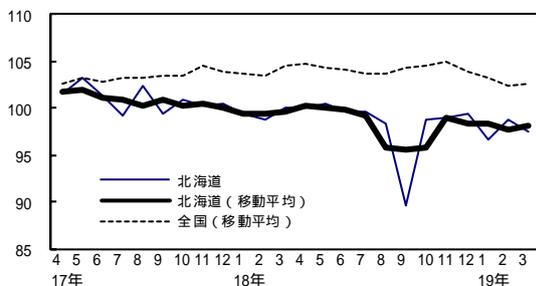
前回からの主要変更点

	前回 (平成31年2月)	今回 (令和元年5月)	
景況判断	緩やかな回復基調	緩やかに回復	
個人消費	持ち直しの動き	持ち直し	
観光	おおむね横ばい	増加	

1. 鉱工業生産等の動向

- (1) 第一次産業は生乳生産は前年を上回り、主な水産物の生産額は前年を下回っている。
 1 - 3月期には、生乳生産は総量では983,849tと前年比0.2%増となり、牛乳等向けが増加した。主な水産物の生産額(主要9港)は、すけとうだら等が減少したため、前年比18.6%減となった。
- (2) 鉱工業生産は持ち直している。
 1 - 3月期には、食料品は、水産加工品等が増加した。パルプ・紙は、海外製品との価格競争の影響があり、紙製品が減少した。電気機械は、生産移管を行ったことから、無線通信機器の生産が減少した。鉄鋼は、鋼半製品の在庫を積み増し、生産が増加した。化学・石油石炭製品は、地震の影響で停止していた設備が稼働したことから、生産が増加した。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
食料品	25.9	1.0	1.7	0.6	0.7	0.6
パルプ・紙	13.1	7.4	0.8	1.6	0.0	1.1
電気機械	9.1	5.7	25.6	20.0	2.8	0.4
鉄鋼	7.9	0.7	0.7	4.0	4.9	2.4
化学・石油石炭製品	7.6	1.3	0.1	12.5	6.7	6.4
鉱工業	100	3.3	1.4	2.6	2.2	1.4

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北海道の最新月は速報値。
 2. 全国及び北海道の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。

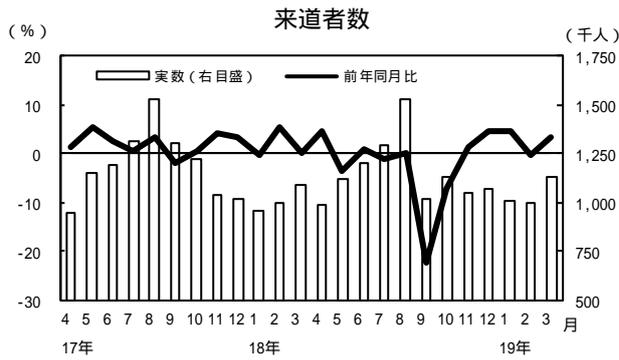
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 1 - 3月期、3月は速報値。

1 主な水産物は、するめいか、さんま、すけとうだら、たこ類、ほっけを対象魚種とする。

(1) 北海道

(3) 観光は増加している。

来道者数は、航空機の利用者増などがあり、増加した。



(備考) 北海道観光振興機構調べ。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比3.3%増、2月は同2.8%減、3月は同0.8%減となった。

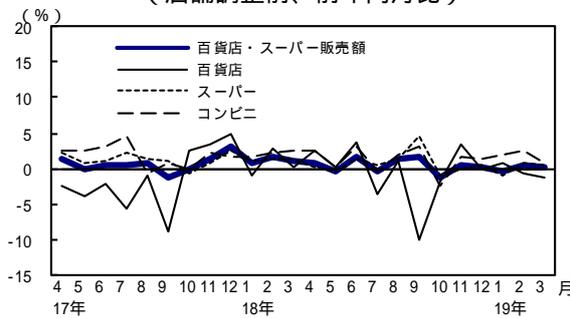
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品、身の回り品は前年を下回ったものの、飲食料品、その他は前年を上回った。2月は、その他は前年を上回ったものの、衣料品、身の回り品、飲食料品は前年を下回った。3月は、身の回り品は前年を上回ったものの、衣料品、飲食料品、その他は前年を下回った。

スーパーは、1 - 3月期は、飲食料品が好調だったこと等から前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額等

(店舗調整前、前年同月比)



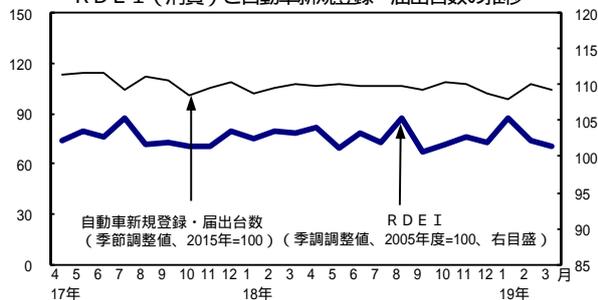
	2019年1 - 3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.9	3.3	2.8	0.8
百貨店・スーパー(*2)	0.1	0.5	0.6	0.2
百貨店(*2)	0.3	0.9	0.6	1.3
スーパー(*2)	0.2	0.9	0.9	0.6
コンビニ(*2)	1.8	2.1	2.6	0.7
乗用車(*3)	3.0	3.3	1.7	5.3
(季節調整値)(*3)	2.6	3.7	9.2	3.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比 (%))

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。

